

タブレットがぐっと身近になる

Hello, Tablet!

2023年

Vol.12
2月

教育総合研究所

疑問に思わない



当たり前前すぎて

今号のもくじ

- ◇ そうけんさんのICT奮闘記
発表活動が資料作成活動になっている
- ◇ タブレットのある風景
当たり前を見直してみよう
- ◇ 教育フォーラムのお知らせ

日々のトラブル

DX川柳

DXチリも積もればデラックス

大きなテーマであるDXですが、日々の積み重ねがいつか高みに届くこともありえます。そう思いながら、着実に歩みを進めたいですね。



Take it easy

そうけんさんのICT奮闘記

連載 第7回



今月の困りごと **発表活動が資料作成活動になっている**

操作系のトラブルで授業の流れを止めてしまうことは少なくなってきたけれど、まだまだ、タブレットを使った活動がスムーズに進められていないなあ。この前の授業で発表活動を取り入れたけれど、発表や意見交流の時間よりも、資料を作っている時間の方が長くなってしまったし。授業中に意欲的に取り組んでくれることはいいんだけど、本当に時間をかけて欲しい内容に使う時間が毎回、短くなってしまう。凝った資料を作りたい気持ちも分かるだけにどうしたらいいのかなあ。

Answer

発表時間や意見交流の時間を捻出するために、デザインや構造などはテンプレートを活用してみましょう。

活動を通して「資料作成時間」 > 「発表・意見交流時間」となってしまうことはありませんか。操作に慣れてくると児童・生徒は様々な機能を使って資料の見栄えなどを整え始めます。しかし、芸術性やデザイン性が活動の中心ではない場合は、その点に時間をかけすぎるとはあまりお勧めできません。見栄えに関してはオンライン上を含めて予め用意されているデザインテンプレートを利用することも有効な選択肢となります。そうすることで、デザインを考えることに時間をとられずテンプレート上で情報をどう整理し表現するのかという情報活用能力の育成に焦点を当てやすくなります。また、Canvaのようなデザインに特化したクラウドサービスを活用すると様々な形式の資料を作成することができますよ。

お便りのコーナー 今月はお便りが届きました！

1月号ではクラウドの活用について特集しましたが、自己流で使いこなしてはいるけど、もっと便利な使い方などを考えるきっかけになったというお便りが届きました。

ICT機器やサービスをある程度まで使いこなせるようになると、新しいことに目が向きにくくなることがありますよね。でも、気がいたら自分のやり方よりも効率的であったり、簡単に実現できたりすることがたくさんあります。かく言う自分も、つい先日のことですが、Microsoft Edge (ブラウザ)でPDFファイルを開くと自由に手書き入力ができることを知りました。自分の当たり前を一度、脇に置いて新しい目で活用について考えてみることも大切ですね。

タブレットのある風景

授業中にタブレット端末を使うことが当たり前になりつつありますが、その当たり前を見直してみませんか。

当たり前 その1

常に端末をノートパソコン型のままで使用している



画面を複数人で見る場合や、画面を直接さわるような場合は、キーボードを折り返すなどしてタブレット状態にする方が作業がしやすいですよ。

当たり前 その2

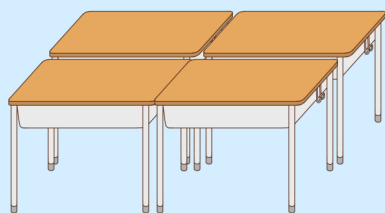
共有の時間が可視化や提示に留まってしまっている



教室のモニターの情報量が多ければ多いほど内容を共有することが難しくなります。内容の吟味や児童・生徒間のフィードバックが必要な活動は個人の端末への配信という方法が有効ですよ。

当たり前 その3

グループワークの机の配置を固定化している



タブレット端末は持ち運びが容易なため、机上に広いスペースを必要としません。活動時間や話し合う内容などに応じて、一人の端末を皆でのぞき込む、端末を持ち寄り立ったままで話すなどの変化も取り入れてみてみませんか。

福井の教育を変えるフォーラム

に参加しませんか？

- ◆現場の教職員を中心とした
21名による実践発表
- ◆4名の登壇者と講師による
教育シンポジウム
- ◆「教育DX最前線」が分かる
全国区講師による総括講演

◇令和5年3月7日(火)
～3月9日(木)
(オンライン+ハイブリッド開催)

◇内容詳細・お申込はチラシ →
または下のURLをクリック↓

<https://forms.gle/7rJLrYhggJKgRx319>

令和4年度
ふくい教育フォーラム
教育DX
で拓く
福井の未来

開催日程
令和5年3月7日(火)・8日(水) オンライン開催
(zoomによる開催)
13:30～16:30 研究・実践発表
3月9日(木) ハイブリッド開催
(会場の発表をzoomでも配信)
会場：福井県教育総合研究所 大講義室
10:00～12:35 研究・実践発表
13:45～14:50 シンポジウム
15:00～16:10 総括講演
「ここまで来た！教育DX最前線」
講師 株式会社情報通信総合研究所
特別研究員 平井聡一郎氏

参加申込
申込方法 プログラムに記載のQRコードまたは福井県教育総合研究所のHPから参加を希望する発表にお申し込み下さい。
申込締切 令和5年2月24日(金)

QRコードからも確認できます

★すべての発表がオンライン参加可能です！

★発表ごとにお申し込みが可能です！

ぜひ、積極的にご参加下さい！



お便りはこちらまで！

<https://forms.gle/6QdJ5mHm8ZooyxSN9>



次号は3月1日発行予定

編集後記
今月号では当たり前のことを見直すことに注目してみました。特に問題がなければ現状維持となりがちですが、そんなときこそ当たり前を見直して見ませんか。毎月、当たり前に発行してきたこの通信も残すところあと一号です。読むのが当たり前の方も実は初めて読んだという方も最後までお付き合いの程をよろしくお願いいたします。